

私は通信インフラ系の企業に勤めておりますが、弊社はライフサイエンスの分野にも取り組んでおり、中でも私はサイトメトリーに関わる業務を長年務めてきました。特に装置を担当しており、畑違いであったものの（専門は電気）サイトメトリーに関する知識・技術はそれなりに積み重ねてきたという自負がありました。一方で、一般的に見て十分な技術・知識を有しているかを確認したくなり、また対外的にもサイトメトリー技術者と認めてもらいたく、（必要に迫られたわけではありませんが）21年度の「サイトメトリー認定技術者」を受験しました。無事1回の受験で合格することができましたが、受験に際して私が行った学習について共有させていただければと思います。私は主に日本サイトメトリー学会 HP に記載されている試験対策を参考に、下記3点について学習を行いました。

- ① チャレンジ認定試験（学会 HP よりダウンロード）
- ② 「スタンダードフローサイトメトリー 第2版」（医歯薬出版 発行）
- ③ 2021年技術者認定協議会技術講習会の受講

それでは①～③について学習した内容を簡単に説明いたします。

- ① チャレンジ認定試験([https://www.cytometry.jp/wordpress/wp-content/uploads/MT32\\_challenge.pdf](https://www.cytometry.jp/wordpress/wp-content/uploads/MT32_challenge.pdf))

まったく同じ問題が出題されることはありませんでしたが、同レベルの問題が出題されたと記憶しております。試験問題のレベルを知ることができ、また解説も非常に参考になりましたので、学習必須かと思えます。

- ② 「スタンダードフローサイトメトリー 第2版」（医歯薬出版 発行）

基礎の基礎から応用まで幅広い内容であり、具体的な実験プロトコルも記載されております。試験対策のみならずフローサイトメトリーを扱う方の必読書かと思われれます。ただし、試験に向けてすべて理解し憶えることは困難かと思えます。そのため、私は学会 HP 試験対策ページに記載されている「認定サイトメトリー技術者筆記試験用到達目標」(<https://www.cytometry.jp/wordpress/wp-content/uploads/toutatu.pdf>)に記載されている範囲を重点的に学習しました（十分な試験対策時間がとれなかったこともありますが、前記範囲を学習すれば合格できると信じて取り組みました）。

- ③ 2021年技術者認定協議会技術講習会の受講

「認定サイトメトリー技術者」認定試験直前に実施される講習会に参加しました。もちろん試験対策を目的として受講しましたが、それを差し引いても多数の先生方より非常に有益な講義を受けることができました。講義内で試験内容について明確に言及されることはありませんでしたが、重要な点はかなり強調されていたと記憶しています。試験に向けて大いに参考になったことは間違いありません。

以上簡単ではありますが、私が試験に向けて行った学習について共有させていただきました。前述の通り、私は主に装置を担当していたため、その点について改めて学習する必要がなかったことは幸いでした（チャレンジ認定試験の装置問題は学習無しで解けました）。一方で、サンプル調整や表面抗原解析等については知識不足であったと試験勉強を通じて痛感しました。これらは目標がないとなかなか腰を据えて学習しないので、試験勉強を通じて学習できたことは非常に良かったと感じております。最後は試験勉強を通じた私の雑感となりましたが、私の体験が皆様の「サイトメトリー認定技術者」合格に向けた学習の一助になれば幸いです。また、これから受験する皆様の合格をお祈りしております。